

別紙3 点検表記録様式
橋梁名・所在地・管理者名等

様式1（その1）

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	40°01'58.82"	140°16'39.70"
菊桜岱橋 (フリガナ) キクザクラタイハシ	大林小田瀬線	秋田県北秋田郡上小阿仁村大林字下川原	地先			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件（名称）
秋田県上小阿仁村	2010.7.27	河川（小阿仁川）	無	一般道	その他	無し

部材単位の診断（各部材毎に最悪値を記入）

点検者

上小阿仁村

点検責任者

齊藤 幹雄

点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (I～IV)	変状の種類 (II以上の場 合に 記載)	備考（写真番号、 位置等が分かる ように記載）	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	III	写真01			
	横桁					
	床版					
下部構造	III	コンクリート欠損、洗掘	写真02、写真03			
支承部						
その他	II	地覆ひび割れ	写真04			

道路橋毎の健全性の診断（判定区分 I～IV）

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分) III	(所見等) 主桁鉄筋露出、P2、P3橋脚の下部洗掘は、できるだけ早い時期に補修等を行う損傷である。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)

全景写真（起点側、終点側を記載すること）

架設年次	橋長	幅員	起点側 終点側 
1965年	47m	3m	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造（主桁）【判定区分：Ⅲ】		下部構造（床版）【判定区分：Ⅲ】	
写真01 鉄筋露出		写真02 P1橋脚 コンクリート欠損	
【判定区分：Ⅲ】		【判定区分：Ⅱ】	
写真03 P2橋脚 洗掘		写真04 地覆 ひび割れ	